

環境経営レポート

2019

札幌トヨペット株式会社



エコアクション21
認証番号0008957

発行日：2019年7月1日

1.会社概要(2019年3月31日現在)



(1)名称

札幌トヨペット株式会社

(2)所在地

〒062 - 0051

北海道札幌市豊平区月寒東1条14丁目1番1号

(3)代表者名

代表取締役社長 沖田 俊弥

(4)設立年月日

1956年5月4日

(5)資本金

20億円

(6)環境管理責任者及び環境管理副責任者及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 萱嶋 鉄雄

副責任者 専務取締役 石黒 栄一

e a21推進事務局 総務部

部長 久米田 聡

連絡先 電話：011-858-8131 FAX：011-858-8116

E-mail sat-kumeta@p-sapporo.co.jp

(7)事業の規模(2018年度)

・売上高	379億円
・新車販売台数	7,722台
・中古車販売台数	7,185台
・従業員数(派遣・パート等含む)	836名
・事業所数	本社を含め42事業所(全て札幌・室蘭管内)
・対象人員	858名

2.e a 2 1 の対象範囲



(1)事業内容

新車・中古車の販売・リース、修理・特殊車両の架装

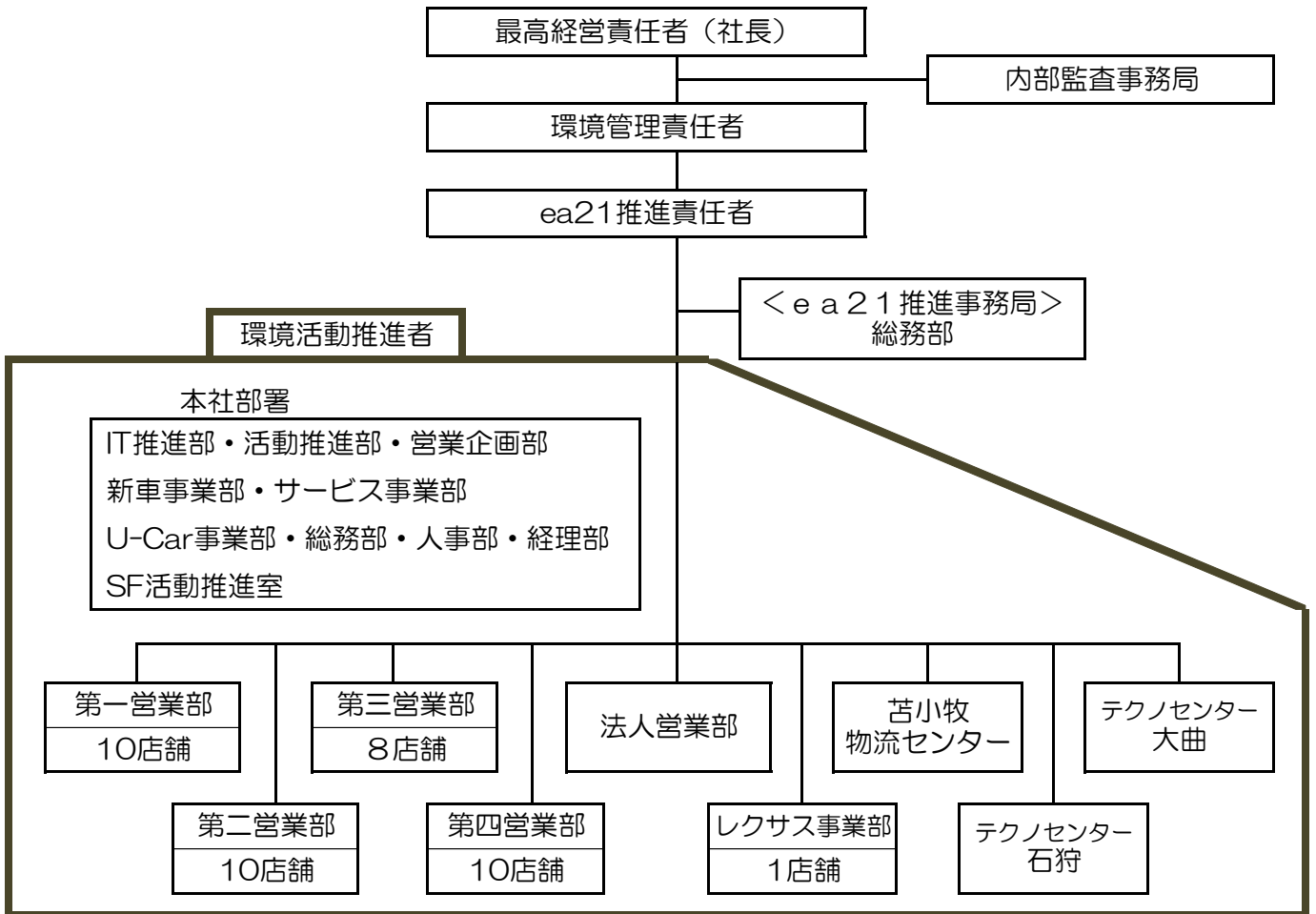
損害保険代理店業

通信機械器具の販売

(2)対象期間

2018年4月1日～2019年3月31日

(3) e a21推進組織図(2018年3月31日組織図)



【事業所所在地】

2019.3.31

事業所名	郵便番号	住所
札幌店	064-0806	北海道札幌市中央区南6条西6丁目9番地
マックス-ク伏見	064-0917	北海道札幌市中央区南17条西18丁目1番10号
山鼻店	064-0917	北海道札幌市中央区南17条西11丁目1番1号
東苗穂店	007-0808	北海道札幌市東区東苗穂8条3丁目1番2号
カマックス琴似店	063-0803	北海道札幌市西区二十四軒3条7丁目4番21号
マックス-ク宮の沢	063-0051	北海道札幌市西区宮の沢1条3丁目2番11号
手稲店	006-0013	北海道札幌市手稲区富丘3条5丁目1番40号
北店	065-0032	北海道札幌市東区北32条東1丁目5番15号
藻岩店	005-0037	北海道札幌市南区南37条西11丁目7番3号
白石店	003-0012	北海道札幌市白石区中央2条1丁目5番55号
カマックス元町店	065-0013	北海道札幌市東区北13条東15丁目3番10号
月寒店	062-0051	北海道札幌市豊平区月寒東1条14丁目1番1号
マックス-ク美しが丘	004-0814	北海道札幌市清田区美しが丘4条5丁目2番1号
上野幌店	004-0031	北海道札幌市厚別区上野幌1条3丁目1番22号
厚別店	004-0052	北海道札幌市厚別区厚別中央2条1丁目2番33号
篠路店	002-8021	北海道札幌市北区篠路1条4丁目6番20号
発寒店	063-0833	北海道札幌市西区発寒13条3丁目7番48号
里塚店	004-0801	北海道札幌市清田区里塚1条4丁目2番12号
北郷店	003-0834	北海道札幌市白石区北郷4条9丁目2番17号
新琴似店	001-0908	北海道札幌市北区新琴似8条16丁目1番1号
小樽店	047-0013	北海道小樽市奥沢1丁目24番23号
余市店	046-0001	北海道余市郡余市町栄町44番地1
岩内店	045-0031	北海道岩内郡共和町梨野舞納54番地13
倶知安店	044-0076	北海道虻田郡倶知安町高砂224番地7
岩見沢店	068-0004	北海道岩見沢市4条東13丁目6番地
由仁店	069-1202	北海道夕張郡由仁町古川115番地
滝川店	073-0012	北海道滝川市黄金町東2丁目1番5号
江別店	067-0073	北海道江別市弥生町6番地1
恵庭店	061-1406	北海道恵庭市和光町1丁目1番1号
千歳店	066-0015	北海道千歳市青葉1丁目11番3号
澄川店	059-1271	北海道苫小牧市澄川町2丁目1番1号
室蘭店	050-0081	北海道室蘭市日の出町2丁目31番27
室蘭マカセツ	050-0081	北海道室蘭市日の出町2丁目33番地12
伊達店	052-0021	北海道伊達市末永町33番地5
カマックス苫小牧店	053-0053	北海道苫小牧市柳町4丁目19番36号
マックス-ク苫小牧	053-0042	北海道苫小牧市三光町1丁目1番3号
富川店	055-0007	北海道沙流郡日高町富川西2丁目1番9号
本社	062-0051	北海道札幌市豊平区月寒東1条14丁目1番1号
苫小牧物流センター	053-0055	北海道苫小牧市新明町3丁目3番3号
マカセツ-石狩	061-3242	北海道石狩市新港中央2丁目756番地14
マカセツ-大曲	061-1274	北海道北広島市大曲工業団地8丁目2番2号
マカセツ月寒	062-0051	北海道札幌市豊平区月寒東1条14丁目1番2号



環境経営方針

<基本理念>

当社は「人間尊重」の精神のもと、地域社会に信頼され
貢献できる会社を目指し事業活動を行っています。
お客様の笑顔のために新技術の普及に努め、次世代モビリティ
社会の実現を通して地域社会への一層の貢献を目指します。

<環境活動方針>

- 1) 環境マネジメントシステムを構築し、有効で継続的な
取組を行います。

当社の企業活動によって生じる環境への影響を正確に認識し、効果的で効率的
かつ継続的な環境への取組を推進します。

- 2) 環境に関する法律・条例・協定等を遵守します。

環境関連法規などの要求項目と内容を、もれなく正確に把握し、遵守します。

- 3) 節電・省エネ・省資源・リサイクルを推進します。

電力と化石燃料の使用量削減、廃棄物の排出量削減とリサイクル、
排水の環境保全に努めます。

- 4) 新技術搭載車両の普及に努めます。

安全支援技術搭載車やコネクティッドカーの普及に努めることで、交通事故の
防止や効率的な走行をサポートし、エネルギー使用量の低減に貢献します。

- 5) 化学物質の適正な使用・管理に努めます。

人体や環境に悪影響を及ぼす化学物質について正しく認識し、適切に使用・管理します。

- 6) 環境経営方針を全従業員に周知徹底し、環境レポートを
作成・公表します。

この環境経営方針を基に、従業員が自ら考え、行動し、取組結果を正しく公表します。



2012年4月10日制定

2019年4月1日改定

札幌トヨペット株式会社
代表取締役 沖田 俊弥

※札幌トヨペットは、全組織でエコアクション21(環境省推奨)の認証を取得しました

4.環境経営目標と実績



1.環境経営目標

基準値 (2016年度)		中長期目標						
環境目標項目		数値	年度 単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
削減	二酸化炭素排出量 ※1	228	kg-Co2/百万円	-1%	-2%	-5%	-6%	-7%
	購入電力	6,048,863	Kwh	-1%	-2%	-5%	-6%	-7%
	化石燃料							
	灯油	1,407,279	ℓ	-1%	-2%	-5%	-6%	-7%
	都市ガス	178,765	kg	-1%	-2%	-10%	-11%	-12%
	LPG	2,481	m ³	-1%	-2%	±0%	±0%	±0%
	ガソリン	419,908	ℓ	-1%	-2%	-10%	-11%	-12%
	軽油	80,731	ℓ	-1%	-2%	-10%	-11%	-12%
	事務用紙投入量 ※2	24,467	kg	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%
	水資源投入量	56,322	t	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%
廃棄物の排出量 ※3	1,720	t	±0%	±0%	±0%	±0%	±0%	
化学物質 (PRTR) 取扱量	油性塗料使用量 ※4-1	1,229	kg	±0%	±0%	±0%	±0%	±0%
	ガソリン取扱量 ※4-2	48,628	ℓ	-	-	-	-	-
増大	車両販売台数	16,477	台	+2%	+4%	+6%	+8%	+10%
	廃棄物再資源化量 ※5	923	t	±0%	±0%	±0%	±0%	±0%

2.今年度の実績

赤字は目標達成項目

基準値2016年度(2016年4月～2017年3月)				2018年度(2018年4月～2019年3月)			
環境目標項目	単位	基準値	環境効率	実績値	増減率 対基準値比	環境効率	
			売上高 (百万円) 対比			売上高 (百万円) 対比	
二酸化炭素排出量	kg-Co2/百万円	228	0.01	215	-6%	0.01	
購入電力	Kwh	6,048,863	154.55	5,473,448	-10%	144.37	
削減	化石燃料						
	灯油	ℓ	1,407,279	35.96	1,246,346	-11%	32.87
	都市ガス	kg	178,765	4.57	153,016	-14%	4.04
	LPG	m ³	2,481	0.06	4,142	67%	0.11
	ガソリン	ℓ	419,908	10.73	357,720	-15%	9.44
軽油	ℓ	80,731	2.06	64,750	-20%	1.71	
事務用紙投入量	kg	24,467	0.63	25,124	3%	0.66	
水資源投入量	t	56,322	1.44	54,922	-2%	1.45	
廃棄物の排出量	t	1,720	0.04	1,243	-28%	0.03	
化学物質取扱量 (PRTR)	油性塗料使用量	kg	1,229	0.03	1,117	-9%	0.03
	ガソリン取扱量	ℓ	48,628	1.24	27,351	-	-
増大	車両販売台数	台	16,477	0.42	14,907	-10%	0.39
	廃棄物再資源化量	t	923	0.02	788	-15%	0.02

※1 二酸化炭素排出量の計算に使用される購入電力の排出係数は、年度毎経済産業省及び環境省で確認後電気事業者ごと（北海道電力㈱）の公表があるが、各年度の排出量をH28年度（基準年度）と比較するため排出係数を基準年度の係数0.632kg-co2 / kWhで計算しています。

※2 全店で購入したコピー用紙総量を重量換算しています。

※3 廃棄物排出量は、車の修理等に基づき排出するため、削減対象とはせず排出量の把握と適正処理に努めます。
なお、実績値は産業廃棄物マニフェスト発行時に記載した排出量、一般廃棄物は逆有償リサイクル処理量の合計量。
(有価物は除外)

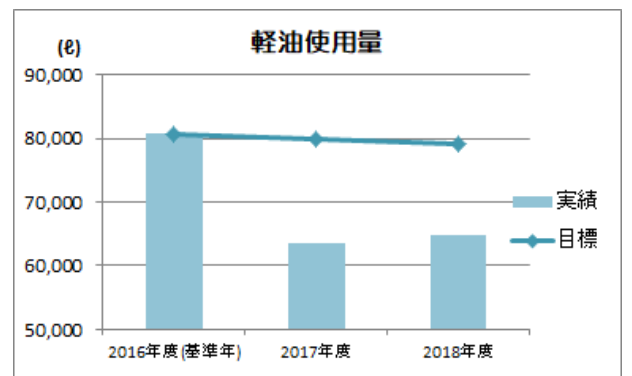
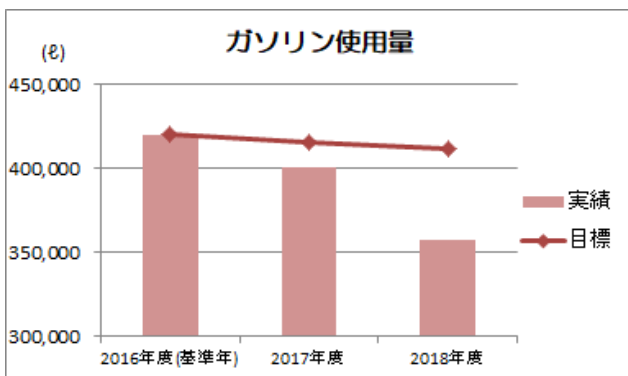
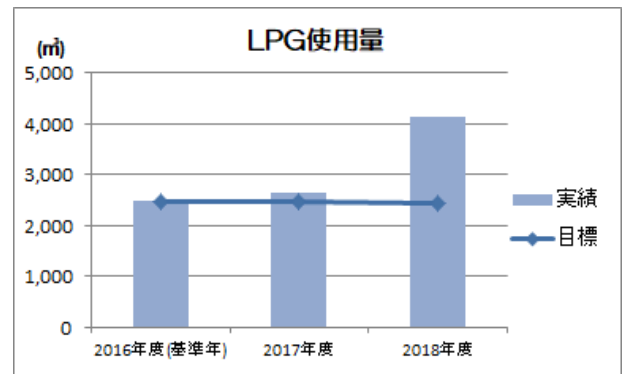
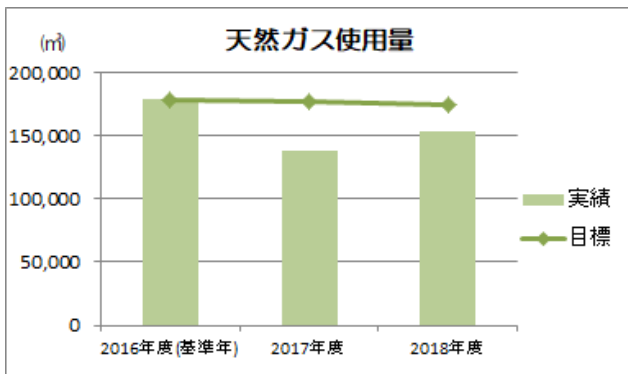
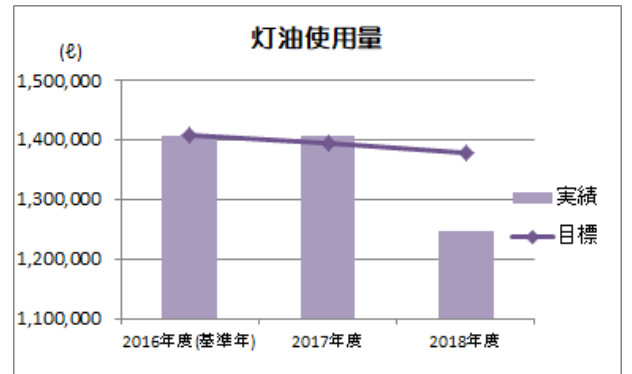
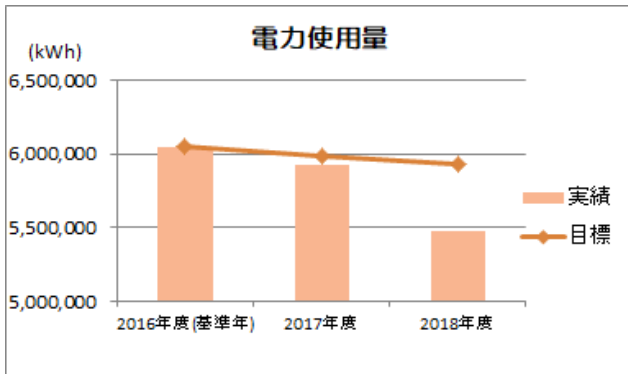
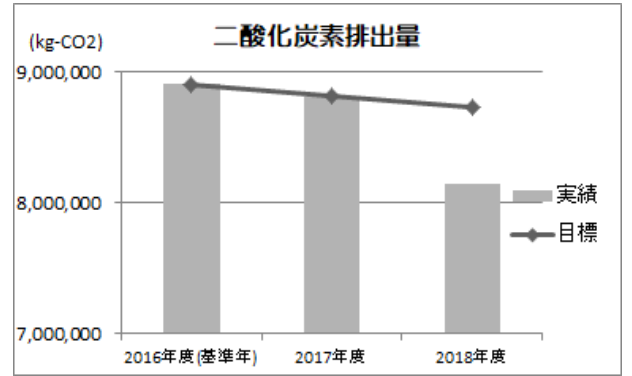
※4-1 テクノセンター（2事業所）で使用した塗料の内、水性塗料を除いたもの。

※4-2 苫小牧物流のガソリンスタンド給油量。

※5 産業廃棄物から埋立処分量を除いたもの。



CO2排出量・エネルギー使用量の推移



5.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容



1 取組結果とその評価

取組計画	結果	評価（2018年4月～2019年3月）
<p>1 二酸化炭素排出量削減 目標：基準値比2%削減する。 活動計画：購入エネルギー量の削減</p> <p>①消費電力の削減 ②冷暖房等燃料（灯油・都市ガス）の効率化 ③自動車燃料の効率化</p>	○	<p>基準値比-6%、目標を達成した。</p> <p>①消費電力の削減 ・9月の震災以降の大幅な節電の影響もあり、基準年比-10%を達成。</p> <p>②冷暖房等燃料（灯油・都市ガス）の効率化 ・灯油の使用量は、基準値比-11%であった。2店舗でエアコンを灯油型からLPG型へ変更した影響と、2・3月降雪量が少なかったため。</p> <p>・都市ガス使用量は、GHPエアコンの効率的使用の推進により基準値比-14%と大幅に削減。</p> <p>・LPGの使用量は基準値比+67%であった。基準年当時は給湯にしか使用していなかったが、2店舗でエアコンを灯油型からLPG型へ変更したため。</p> <p>③自動車燃料の効率化 ・ガソリン使用量は基準比-15%を達成。お客様に来店していただく機会が増えたため。 ・軽油使用量は、リコール件数が少なかったため、ハイエース等のサービス代車の使用が減少したことにより、-20%を達成した。</p>
<p>2 事務用紙投入量削減 目標：基準値比2%削減する。 活動計画：資源投入量の削減</p>	○	<p>基準比+3%、目標未達であった。 SNS（LINEWORKS等）の活用によるFAX使用削減を推進しているが、全社での意識づけが不十分。また、効率改善のための会議強化の影響も大きい。</p>
<p>3 水資源投入量削減 目標：基準値比2%削減する。 活動計画：水使用量の削減</p>	○	<p>基準値比-2%、目標を達成した。 洗車サービスの見直しが要因。</p>
<p>4 廃棄物の排出量削減 目標：基準年比±0%削減する。 活動計画：循環資源の増加推進</p>	○	<p>基準値比-28%であった。 分別ルールの徹底による削減とともに、リコール台数の減少の影響も出ている。尚、廃掃法に関する違反はなかった。</p>
<p>5 化学物質使用量の削減(PRTR) 数値目標なし、削減に努める。</p>	○	<p>水性塗料の使用量拡大に伴い、油性塗料（PRTR対象物質）の使用量は減少した。（基準値比-112kg）</p>
<p>6 車両販売台数 目標：基準値比4%増加する。 活動計画：環境負荷・経済性のPR 試乗運転による理解度アップ</p>	×	<p>基準値比-10%、目標未達であった。 販売市場の伸び悩みによる未達。</p>
<p>7 社会貢献の促進 地域社会との交流は、適宜最大に努力して参加・連携する。</p>	○	<p>・交通安全街頭啓蒙活動・地域清掃活動・職場体験の受入れ等。 ・店舗独自で車いす整備等の取組みを実施。 ・グリーンアンドクリーンプロジェクトとして札幌市円山動物園のホッキョクグマの繁殖支援、施設整備、植樹活動を継続。 ・胆振東部地震被災地への支援物資の提供。 ・ユネスコカレンダーリサイクル市への参加。 ・「みんなのメダルプロジェクト」への協力。</p>

2 次年度の取組内容

取組計画	主な取組内容（2019年4月～2020年3月）
<p>1 二酸化炭素排出量削減</p> <p>目 標：2016年度比5%削減</p> <p>活動計画：購入エネルギー量の削減</p> <p>①消費電力の削減</p> <p>②暖房等燃料（灯油・都市ガス）の効率化</p> <p>③自動車燃料の効率化</p>	<p>◆二酸化炭素排出量削減に努める。 そのために環境活動計画推進手順書に基づき以下の3項目について取り組んで行く。</p> <p>①照明、OA機器、空調使用について、デマンドコントロール、BEMSを有効に活用し効率的な運用に努める。（さらに、節電意識の向上を図る）</p> <p>②冬期間の暖房は気象に左右されるが、ショールーム・ラウンジ以外は、設定温度20℃を徹底する</p> <p>③ガソリン仕様の社用車をハイブリッド車に入れ替える。</p> <p>●四半期毎購入エネルギー量、Co2排出量を把握し振り返りを行う。</p>
<p>2 事務用紙投入量削減</p> <p>目 標：2016年度比2%削減</p> <p>活動計画：資源投入量の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・契約書・サービスカルテ等の電子化。 ・ワークフロー・Googleスプレッドシートの活用。 ・会議資料のペーパーレス化を推進。 ・コピー用紙裏紙使用、使用済み封筒やカレンダー等の再利用を徹底実施。 ・FAX使用の削減（メール・SNSの活用）。
<p>3 水資源投入量削減</p> <p>目 標：2016年度比3%削減</p> <p>活動計画：水使用量の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水の使用は販売車両、整備在庫車両の洗車が使用量の大部分であり、効率的使用に努める。 ・設備の日常点検を確実にを行う。（不具合の早期発見及び漏水事故予防）
<p>4 廃棄物の排出量削減</p> <p>目 標：2016年度比±0</p> <p>活動計画：循環資源の増加推進 最終処分埋立量を削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物排出量を把握して適正処理に努める。 ・全社で電子帳票化を推進して行く。（雑紙の削減） ・アルミ缶基金を活用して廃棄アルミの有償売却を拡大する。 ・廃棄物の分別を徹底して最終埋立処分量を削減する。
<p>5 化学物質使用量の削減(PRTR)</p> <p>数値目標は設定しないが環境活動計画の中で削減に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度までに全数水性塗料へ移行する。
<p>6 車両販売台数</p> <p>目 標：2016年度比6%増</p> <p>活動計画：環境負荷・経済性のPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より環境性能・安全性能の高い車両を、多くのお客様にご購入いただくことにより、交通事故の防止や環境負荷低減に貢献する。
<p>7 社会貢献の促進</p> <p>地域社会との交流は、適宜最大に努力して参加・連携する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全街頭啓蒙活動・地域清掃活動の継続と店舗独自で地域住民との交流をより活発にすすめ今後も一層の地域社会へ貢献を目指す。 ・グリーンアンドクリーンプロジェクトを継続し、環境保全活動に協力する。 ・地域社会を始め環境保全に関わる社会の幅広い層との連携・協力関係を構築する。 ・職場体験等の受け入れを積極的に行う。 ・福住駅前、おもてなし花壇の整備。 ・雪まつりでの介助ボランティアの継続実施。

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1 適用となる主な環境関連法規等

主な適用法規	要求事項	遵守状況
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	○
省エネ法	エネルギー管理委員の選任及び中長期計画の届出	○
廃掃法	産業廃棄物の適正処理	○
北海道循環型社会形成の推進に関する条例 ※1	廃棄物処理委託先の調査・記録	○
水質汚濁防止法及び下水道法 ・札幌市生活環境の確保に関する条例 ・北海道公共下水道条例 ・各市町の下水道条例	・公共水域への汚水流出防止 ・特定施設（自動式車両洗浄施設・油水分離層）の届出	○
騒音規制法 ・札幌市生活環境の確保に関する条例 ※2 ・北海道公害防止条例 ※3 ・各市町の公害防止条例	・騒音基準の遵守 ・特定施設（空気圧縮機）の届出	○
振動規制法 ・北海道公害防止条例 ・各市町の公害防止条例	・特定施設（空気圧縮機）の届出 ・近隣住民の配慮	○
道路運送車両法	指定自動車整備事業の適正運営	○
大気汚染防止法		
騒音規制法		
PCB等特別措置法	PCB廃棄物の保管・移動及び処分の規制	○
消防法及び火災予防条例	少量危険物貯蔵取扱に関する規制	○
化管法（PRTR制度）	人体に有害な恐れがある化学物質の管理に関する規制	○
家電リサイクル法	使用済み家電の適正処理	○
浄化槽法	浄化槽の設置等に関する規制	○
労働安全衛生法	労働者の安全と健康を確保するための措置	○
悪臭防止法	事業活動に伴って発生する悪臭についての措置	○
改正フロン法	フロン漏洩防止に関する規制	○
毒物劇物取締法	毒物及び劇物の取扱に関する規制	○
ビル衛生管理法	空気環境測定の実施	○

※1札幌市内事業所は適用外

※2市街化調整区域及び工業専用地域を除いた札幌市内全域

※3上記指定地域以外の北海道内全域



2 環境事故・違反・訴訟等

2018年度は環境事故・違反・訴訟等の発生はありませんでした。

9.代表者による全体の評価と見直しの結果



昨年度は9月の台風・北海道胆振東部地震により当社も少なからず建物に被害を受け、停電で店舗の休業を余儀なくされたことから、改めて災害対策の必要性和エネルギーの重要性を痛感いたしました。一方、震災後大幅な節電の取組みを行った影響も有り、環境経営計画のCo2排出量の削減をはじめとする多くの項目で目標を達成することができました。

今後の環境経営推進の軸としては、2017年度より継続しているSF活動（Shop First活動）を定着させ、販売・売上増と同時に省エネルギーの実現も目指して行きます。また、働き方改善の取組みも継続的に行い、時間管理・効率改善の面からもエネルギーを削減します。

私どもの外部認証取得による環境取組みは、2001年に2店舗でのISO14001認証取得からスタート。2013年にエコアクション21へ全店認証切替を行い、今年で18年目を迎えます。

省エネ・リサイクル活動は勿論ですが、カーディーラーとしての最大の社会貢献は、お客様へCo2排出量の少ない車や最新の安全技術を搭載した車、適正な整備を積極的にご提案することであり、すなわち本来業務の徹底が基本理念「環境の保全・改善と地域への貢献」の実現につながるとの思いで活動しております。

当社の取組みはまだ目指すべき十分なレベルに達しているとは言えません。これからも地域の皆様へ、様々な形でより一層の貢献が出来るよう社員一同努力してまいります。

《代表者の評価・見直し・指示事項》

評価・見直し項目	指示事項
環境経営方針	現行方針を継続して取り組んでいく。
環境関連法規の取りまとめ表等	現行方式を継続し、徹底を図る。
環境目標及び環境経営計画	2016年度を基準年度とし、継続してエネルギーの削減に取り組む。働き方改善やSF活動の定着により、更なる削減を目指す。
実施体制	現行の体制を継続するが、各事業担当者の意識強化を図るため、CSR監査に環境関連項目を追加する。
文書および記録	取組強化のため、実績表を改訂する。
緊急事態への準備及び対応	全店舗で手順書の整備、訓練を確実に実施する。特に、油漏れ対策は重点を置く。また自然災害のリスクに備え、2019年度中にBCP（事業継続計画）を策定する。
その他	現場が創意工夫して環境活動を行えるように、本部からの支援を継続すること。



北海道胆振東部地震



↑安平町へプリウスPHVを貸出



← ↓厚真町へ備蓄水を届けました

